



総合情報通信ネットワークは、迅速・確実な 情報収集・伝達に貢献します。

「福島県総合情報通信ネットワーク」は、地上回線（主）と衛星回線（副）の複数ルート化により、信頼性、耐災害性を強化しています。県と市町村、消防本部、防災関係機関等が密接に情報連携しつつ、防災気象情報や災害現場、被災地の映像情報などの迅速・確実な収集・伝達に貢献します。

衛星通信の刷新

（一財）自治体衛星通信機構（LASCOM）の地域衛星通信ネットワークに接続しており、総務省消防庁をはじめ、全国の地方自治体と通信することができます。



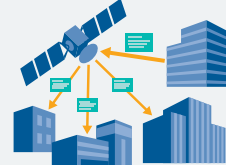
全局に非常電源を整備

無停電電源装置及び発電発電機を設置し、停電時でも通信が可能です。



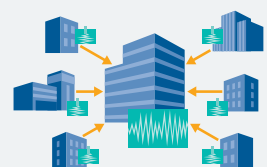
一斉指令

統制局（福島県庁）及び支部局から複数の拠点に対し、一斉に情報を伝達することができます。



震度データの伝送

市町村役場にある自治体震度計の観測データを即時県庁、気象台等に伝送し、テレビ、ラジオ等の速報に役立てます。



衛星可搬局

衛星通信を利用して、災害現場の様子をデジタル画像でリアルタイムに伝えたり、ファクシミリ、データの伝送や一斉通報が可能です。



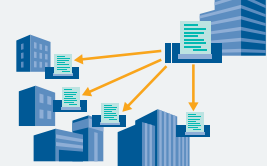
映像伝送システム

複数の拠点を結び、災害映像の配信やテレビ会議ができます。また衛星系を利用して、県庁から福島映像を全国に向けて発信できます。



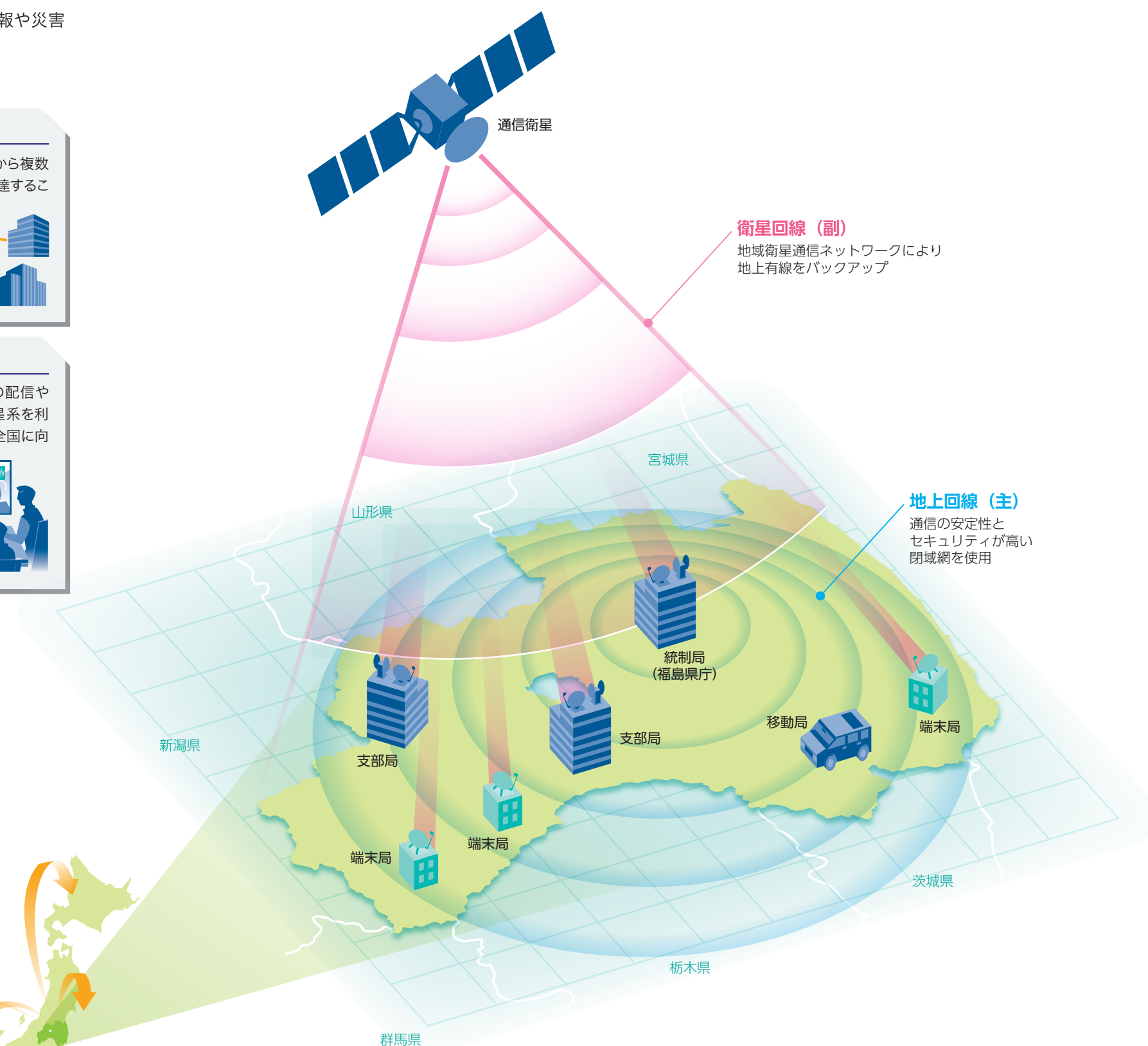
ファクシミリ蓄積システム

各課のファクシミリから県や市町村へ一斉に文書を配信することができます。



移動局の整備

災害現場の情報を収集し、適切な現地活動指示を伝達するため、機動性、耐災害性に優れた衛星携帯電話を導入しています。



磐梯吾妻スカイライン